

平成22年度研究科横断型教育プログラム（Bタイプ）授業科目

担当部局名	生存圏研究所			授業の場所	宇治おうばくプラザ セミナー室1		
授業科目名	木と文化			講義担当者 所属・氏名	生存圏研究所 矢野浩之、川井秀一、 杉山淳司、小松幸平、森拓郎、北守顕久		
対象	修士 博士後期 専門職	コマ数	6 コマ	開講 日時	6月7日(月): 18:30-20:00 6月12日(土)13:30-15:00 6月12日(土)15:20-16:50 6月14日(月): 18:30-20:00 6月21日(月): 18:30-20:00 6月28日(月): 18:30-20:00	授業形態	講義
〔授業の概要・目的〕							
<p>人間は、古くから木材を利用してきた。特に、森林資源に恵まれた日本は、建造物などの文化財で独特な“木の文化”を築いている。本授業では、遺跡(遺跡からの出土物にみる樹種選択)、文化財(先端科学と文化財保存)、建築(伝統的木造建築、町屋の再生)、楽器(楽器に使われる木材とその音響特性)における木材利用について、木材科学の立場から講述する。</p> <p>【研究科横断型教育の概要・目的】 提供する授業は、木材の構造や物理的性質、化学的性質に関する基礎的な知識について説明しながら、最新の科学を駆使した“木と文化”に関する先端的研究の成果を講述するもので、大学院生に相応しい内容である。また、京都の町屋建築や伝統建築、仏像、あるいはバイオリン、ピアノといった親しみやすいテーマを取り上げ、人間の文化的活動への理系的なアプローチについて述べることで、文系、理系の垣根を越えた興味深い内容となっている。</p>							
〔授業計画と内容〕							
<p>第1回 6月7日(月, 18:30-20:00) : 木造建築-その多様な形態-, 小松、</p> <p>第2回 6月12日(土, 13:30-15:00) : 地震と木造建築被害-震災調査事例-, 森、 最近の地震における木造建築の被害事例とそこから見える耐震の重要なポイントを紹介する。</p> <p>第3回 6月12日(土, 15:20-16:50) : 伝統建築にみる木組のメカニズム、北守、 我が国の木造建築で歴史を経て洗練されてきた多様な木組み法について、力学的視点に基づいた講述を行う。</p> <p>第4回 6月14日(月, 18:30-20:00) : 木材に刻まれた時間や歴史を考える、杉山、 木材から知ることのできる様々な情報を説明し、樹種選択などを通して「木に学ぶ環境と歴史」を論じる。</p> <p>第5回 6月21日(月, 18:30-20:00) : 木と住まい、川井、 わが国の歴史・風土から里山文化を考察し、住まい等を通じて「森と木とヒトとの関係」を論じる。</p> <p>第6回 6月28日(月, 18:30-20:00) : 楽器と木材、矢野、 バイオリン、ギター、ピアノの構造と歴史を概説した後、楽器に用いられる木材とその音響的性質について論じる。</p>							
〔履修要件〕							
・各回でテーマ(講師)が異なるため、コマ単位で受講してもよいこととする。							
〔成績評価の方法・基準〕							
・2単位相当の受講証明書を必要とする場合で、当科目で課題のレポートを作成する場合は、1科目(複数コマ全体)についてのレポートにより評価する。							
〔教科書〕							
なし(適宜プリントを配付))							
〔参考書等〕							
(特になし)							
〔その他〕							